



# 97.5%って・・・

97.5%・・・これは、何の数字かという、今の3年生が昨年度実施した「香川県学習状況調査」の質問紙調査で、「いじめは、どんな理由があってもいけないと思う。」という項目に対して、「そう思う。」「どちらかといえばそう思う。」と答えた人の割合の合計です。前の年も、同じぐらいの値でした。県平均よりは少し高い値なのですが、皆さんは、この「97.5%」という数値は、高いと思いますか？低いと思いますか？「97.5%」だけ見ると、高いように思う人もいかもしれませんが、「2.5%」の人が「場合によってはしかたない。」とと思っているのだとしたら、残念なことです。

昨年度の12月10日付「学校通信 希望が丘 第32号」に、「人として大切なこと」と題して皆さんに呼びかけたことがあります。2・3年生は2回目になりますが、1年生は入学前でしたので、もう一度掲載します。よく読んで心に刻んでおいてください。

紀元前500年頃の中国の思想家で、孔子という人がいます。儒教の創始者と言われています。この孔子と弟子とのやりとりをまとめられた書物が「論語」です。この「論語」の中に、次のような内容の一節があります。ある弟子が孔子に「人として、一生涯貫き通すべきことを一言で言うと、何ですか。」と尋ねました。すると孔子は、「それは恕（相手の気持ちを察し、思いやりの気持ちを持って行動すること）だ。」と答えました。そして、次のように付け加えました。

「己の欲せざるところ、人に施すことなかれ。」

「自分がされていやなことは、人にしてはいけない。」という意味です。自分がされていやなこととは、皆さんなら、どんなことを思い浮かべますか？それを、友だちにしてはいけないということは、簡単に理解できますね。

また、皆さんもよく知っているであろうイエス・キリストは、次のように言ったと言われています。

「己の欲するところを人に施せ。」

「自分がしてほしいと思うことを、人にもしてあげましょう。」という意味です。自分がしてほしいこと、してもらってうれしいことは、どんなことですか？それを、友だちにもしてあげるように心がけると、温かい仲間づくりができると思いませんか？

どちらも、人として、とても大切なことを私たちに投げかけてくれていると思います。こういったことを考えること、心にいつも留めておくことは、私たちがどんな社会で生活するとしても、人との関わりを考えたときに、お互いが気持ちよく生活できる、穏やかな気持ちでいられる、忘れてはならないことです。

もっと言うと、そのことを行動に移すことができると、なおいいですね。考えることや言葉にすることはもちろん大切ですが、行動することで、人との関係も自分自身も、何かが変わります。成長します。アメリカのマイケル・サンデルという大学教授が、かつて次のように言っています。

「われわれは正しい行動をすることで正しくなり、節度ある行動をすることで節度を身につけ、勇敢な行動をすることで勇敢になる。」

（『これからの「正義」の話をしよう』 マイケル・サンデル著、鬼澤忍訳、早川書房 より）  
どう考えて行動するかで、人に対してだけではなく、自分自身のこれからも左右されます。正しいと思えることを、勇気を出して行動に移しましょう。その基本は、「自分がされていやなことは、友だちにはしない。」「自分がされてうれしいことを、友だちにもする。」です。

もう一度、普段の自分の行動や人との関わり方を見つめ直し、お互いが気持ちよく生活できる、温かい雰囲気の中三豊中学校を、皆さんの手で作り上げてください。